

## ウシオ電機が工場の改善活動を支える新システムを「Web Performer」で構築 開発スキルと採用技術の標準化を見据え超高速開発ツールを採用

ウシオ電機株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浜島健爾、以下ウシオ電機）は、このほど工場の生産性や製品の品質を向上させるためのデータ収集・蓄積プラットフォーム「EagleEye（イーグルアイ）」を、キヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：足立正親、以下キヤノン ITS）が提供する超高速開発ツール「Web Performer（ウェブパフォーマー）」で構築しました。

ウシオ電機は「光」のイノベーションカンパニーとして、高付加価値な製品・サービスを提供しており、シネマプロジェクタ用ランプや液晶パネル製造用ランプなど、数多くの世界シェアNo.1 製品を生み出しています。製造業の重要な経営課題である工場の生産性や製品の品質を向上させるため、このたびデータ収集・蓄積プラットフォーム「EagleEye」を開発、構築しました。これにより、製造実績や検査結果などさまざまなデータをデータ分析プラットフォームで分析することで、工場の生産性と品質の向上を実現しています。

ウシオ電機はこのデータ収集・蓄積プラットフォーム「EagleEye」の開発、構築において、キヤノンITSの超高速開発ツール「Web Performer」を採用しました。「Web Performer」により工期を大幅に短縮するとともに、工場の生産性や製品品質の改善に向けたPDCAサイクルをスピーディーに回す体制を整備しました。具体的には、製品や仕掛品の製造実績、部材のロット情報、製造時に作業員が測定したデータ、検査設備から出力される検査結果など、工場内のさまざまなデータを集約するための仕組みです。そのデータをBIツールでレポートしたり自由に相関分析したりすることで、工場の改善活動に繋がっています。

現在は一部の製品ライン向けシステムとなっていますが、今回の成果を受けて他製品ラインでも同様の取り組みを開始し、ウシオ電機グループ国内外において「Web Performer」を活用したWebシステムの展開にキヤノンITSが貢献していきます。

キヤノンITSは2005年に「Web Performer」の販売を開始し、企業内の開発部門やSIベンダーなどさまざまな分野の開発現場で700社以上の導入実績を誇っています。労働力人口の減少が深刻な問題となっている今、「働き方改革」や「デジタル革命」といった労働生産性の向上に注目が集まっています。業務効率化やビジネスの価値創造を目指してIT投資への期待が高まる一方、システム開発現場でも同様にIT技術者が減少していく課題があります。そのため、今後も開発スタイルの変革やさらなる開発の高速化への取り組みが求められています。

キヤノンITSはこのような市場の変化に対応することに加え、今回のシステム開発、構築、導入の実績・ノウハウを生かしながら、実装工程の効率化に留まらず開発工程全体の省力化に向けて「Web Performer」の機能強化を行っていきます。また、開発現場の生産革新を目指し「短納期」「高品質」「低コスト」をコンセプトに、コンサルティングからシステム開発、構築、導入、運用・保守までトータルで提供する「Web Performer」関連のSIサービス事業を強化、拡大していきます。

